

■ 本学でしか学べない2つの『医療的ケア』について

本学は福岡県内の他の養成校に先駆けて平成24年度入学生から『医療的ケア』教育を開始しています

医療的ケアとは、「痰（たん）の吸引」・「経管栄養の日常管理」などの医療専門技術・業務のことを言います。2011年6月、社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正により、これまでは医師や看護師が対応していた2つの医療技術・業務を介護福祉士も実施できるようになりました。

医療的ケア1 痰（たん）の吸引

介護の必要な高齢者は、自分の口の中の溜まった唾液（だえき）を飲み込んだり、溜まってきた痰を自力で外に吐き出すことが難しくなることがあります。そのような状況では、唾液（だえき）や痰が気道の通り道である気道をふさぎ、呼吸困難や窒息の危険性が高くなります。



これからは「医療的ケア」の資格を取得した介護福祉士が、専門の医療機器を使い、安全にのどに溜まった痰を吸引し呼吸をサポートできるようになります。



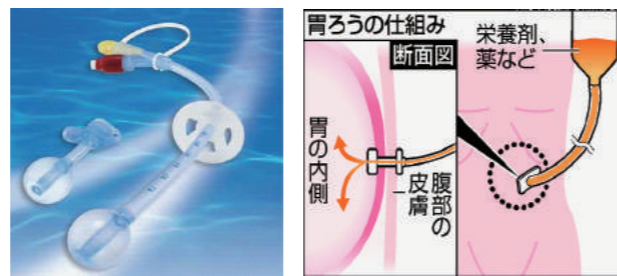
本学でのシミュレーション教材を使った演習風景（左）
キャンパス内介護施設での研修風景（右）

医療的ケア2 経管栄養の日常管理

介護の必要な高齢者は、食べ物を飲み込む力が低下し、むせて口から上手く食べることができなくなることがあります。十分な栄養を摂ってもらうためには、お腹の皮膚に小さな穴をあけて、胃の中にチューブを通す手術を受けます。そのチューブを使って直接胃に栄養剤を注入し、栄養補給をすることを「経管栄養」といいます。この日々の「経管栄養」の管理も、専用器具の準備を含め医療的な清潔操作が求められる医療業務です。



これからは介護福祉士が「医療的ケア」の専門技術を活かし、「経管栄養」の管理を安全に行うことができます。



ニプロ（株）のGB胃瘻/VRーン

■ 医療的ケア教育とは？

本学は福岡市内で唯一認可された「医療的ケア登録研修機関」*の養成校です

多様化する介護・福祉に対応できるよう、本学は他の介護福祉士養成校に先駆けて平成24年度入学生から「医療的ケア」教育の『講義』『演習』カリキュラムを開始しました。これまで介護福祉士ができなかった「医療的ケア」（痰の吸引技術や胃ろうチューブからの栄養管理など）は、「口腔ケア」とともに求められる介護技術ですが、『実地研修（医療的なケアの実習）』を修了することで初めて現場で実践することができます。福岡県内には計13校の介護福祉士の養成校がありますが、本学は他の養成校に先駆けて「医療的ケア登録研修機関」として認可を受け、平成27年度卒業生から卒業時に医療的ケアの資格を取得できるようになりました。

* 公的名称：「喀痰吸引等研修登録研修機関」



■ 在学中に「医療的ケア」の資格を取得するメリットについて

働きながら「医療的ケア」の資格を取るのには、まとまった時間を確保した上で決められた研修プログラムを有料で受講しなければならず、とても大変です。

1) 在学中に資格を取得しておく就職も有利です

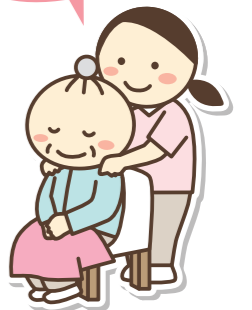
今後ますます重要になる「医療的ケア」ですが、法規定により、「講義50時間」と「演習」とともに、「実地研修」を修了することで、初めて「医療的ケアの資格」を取得できます。

当然のことですが、「医療的ケアの資格」を取得しなければ、「医療的ケア」の業務を行うことはできません。今後は資格名は同じ「介護福祉士」でも、「医療的ケア」ができる介護福祉士と、そうではない介護福祉士に分かれていくこととなります。さらに、求人先（職場）の中には、『医療的ケアが可能な人材が欲しい』との条件を提示するところもあり、それに合わせて特別手当を設定しています。

2) 働きながら資格を取るのには、とても大変！！

- 働きながら有給休暇の中で、研修のための時間をやりくりしないといけません
- 決められた研修プログラムの日程に合わせて休暇をとるためには、職場内の同僚や上司の人たちの勤務スケジュールを調整することが必要になり、多くの人たちの協力が不可欠になります
- 受講料として、実地研修だけで68,000円～86,000円、基本研修を含めると受講料100,000円～152,000円が必要になります（平成27年4月現在、本学調べ）。
- 本来、休息を取るための有給休暇の時間を研修にあてるため、かなりの気力・体力が求められます

福医短で
医療的ケアを
身につけました



本学は福岡市エリアで唯一認可された「医療的ケア登録研修機関」の養成校です。
優れた教育環境の中、在学中に「医療的ケア」の資格を取得して、介護の領域で活躍しませんか？

■ まだある「介護福祉士」の魅力について

介護の専門技能である車イスの操作や、高齢者の移動や体位変換の技術、認知症の方への対応は、専門教育でしか学べません。身に付けた専門技術は、**将来の大きな親孝行**にもつながる頼もしい能力の一つです。

■ 「介護福祉士」の給与や処遇について

介護職の給与（月額）は平均18～20万円です（平成27年3月ハローワーク調べ、福岡中央）。ほとんどの四大卒の初任給と同等です。（平成26年8月人事院 職種別民間給与実態調査）また、四大を卒業した社会人の方が入学される例も多数あります。介護職は、高齢社会を極める日本において、絶対に無くならない仕事と言われています。また専門技術を修得しておけば、どんな不景気にも職にあぶれることはありません。



新しく始まった「医療的ケア」教育への対応は、これからますます高度化・専門化が進む介護福祉の現場において重要となります。しかし、「医療的ケア」は高齢者の「命」にかかわる業務であることから、教育内容は予想以上に難しく、学生に理解させるには教える側の力量と教育環境が大きく問われてきます。

言うまでもなく本学は、看護師・医師を含めた多職種の「教育のプロ」が教育に携わっています。本年度、福岡市エリアで唯一認可された「医療的ケア登録研修機関」の養成校になり、平成27年度卒業生から卒業時に医療的ケアの資格を取得できるようになりました。ますます、地域の保健・福祉に貢献できる介護福祉士の養成に取り組んでいきます。

福岡で先駆け始める 医療的ケア キャンパス内の 実習施設
卒業後 すぐに実践 医療的ケア 福岡エリアで 福医短だけ